

2014年8月発行

# Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

夢を叶える秘訣は4つのCに集約される。

Curiosity (好奇心) Confidence (自信)

Courage (勇気) Constancy (継続)

ウォルト・ディズニー

## 最終関門「面接」で勝つ！！

入試に限らず、これからの人生で「面接」を受ける場面は少なからずある。苦手な生徒もいるだろう。しかし、自分の熱意とやる気を存分に表現できるのは、やはり「面接」である。ぜひ、苦手意識を持たず、積極的に取り組んでもらいたい。

面接には、他の選考とは決定的に異なる点がある。それは、相手が目の前の「人」であることだ。想定できる質問がある一方、全く予想がつかない面もある。回答に対する突っ込んだ質問が繰り返される場合もあり、人によっては、心理的プレッシャーが大きくかかる試験といえるだろう。

### \* 「人」が相手。自分の言葉で表現する。

面接では意欲・適性・社会性・人間性などがチェックされる。話している内容にブレがないか、自分の言葉で話しているか、人としてマナーや態度は備わっているかなど、受験生の資質を面接者は見ている。面接練習をするに当たっては、自分ときっちり向かい合って考え、自分の言葉で表現できるようにしておこう。

実際の面接は、調査書・推薦書や面接カードの内容に基づいて行われるため、慎重かつ丁寧に記載し、その内容は覚えておくことが必要だ。アドミッションポリシーの「求める学生像」や企業の「求める人材」の視点から審査されることになるため、あらためて確認しておくこと。就職面接であれば企業研究は必須である。

### \* 「個人面接」と「集団面接」

面接の形式には大きく、個人面接とグループ(集団)面接の2つがある。個人面接では、面接者の視線を一手に受ける緊張感がある。一方、グループ面接では、他の受験生との比較を自分自身でしてしまい、焦りが生まれるなどのプレッシャーがかかる。いずれも場の雰囲気にもまれずに冷静に対応できるよう、繰り返し

練習しよう。担任の先生だけでなく、普段あまり接点のない先生との練習は場慣れには効果的だ。

### \* 必ず聞かれる「志望理由」と「抱負」

質問は、一般質問と学科に関する質問、口頭試問の3つに大別される。

一般質問では、志望理由・大学で学びたいこと・抱負・将来の進路と希望・高校生活の思い出・最近読んだ本などの質問が中心。中でも、志望理由と抱負については、まず間違いなく問われる。志望理由には明確な答えを用意し、過去→現在→未来の時間軸がつながるように回答を用意しておこう。

口頭試問は、面接者がその場で教科関連の質問を出し、受験者がその場で答えるものだ。質問は学科関連の教科の基礎的な知識や常識を問うもの、面接前に受けた小論文や学力試験に関連するものが多い。図やグラフを示したり、簡単な計算や実験をさせたり、計算の場合はホワイトボードを使用したりもする。

### \* 他は良くても、

#### 面接の評価で合否が分かれることも？

進学の場合、面接の評価方法は大学・学部によって異なるものの、主に①参考程度、②点数化、③段階評価、④点数化しないが重視、の大きく4つだ。②が最も多く、③が次いで多い。

例えば面接者3名のうち、2名がE評価をした場合には、他の調査書や小論文の成績が良くても不合格となるケースもある。最後は人物が見られる。大事な場面で、残念な結果にならぬよう普段から気をつけよう。

(蛍雪時代より一部引用)

～1・2年生も今からできる面接対策～

正しい敬語が使えますか？

面接に対応できる身だしなみですか？

自分のことを言葉で表現できますか？